

令和8年3月受付分 公表

番号	件名	市民の声（要旨）	市の回答	問い合わせ先
1	添加物入りのおやつ廃止希望	<p>おやつの内容が手作りだと安心しますが、まだ幼い、味覚を育て、身体を作っている供達に、添加物が入ったおやつをなんの疑いも無く与え、子供達が口に入っているのを、とても不安に感じます。</p> <p>本日はおやつバイキングというものがあり、2歳児にも市販の味の濃いおやつを食べたいだけどうぞという内容でした。</p> <p>添加物による考えはご家庭により様々だと思いますが、市で管理されている園生活においては、三重県産の食材を使用されたりもしている中、おやつだけが市販の袋物で、年齢が上がるにつれて味の濃い添加物が多く入ったものになるというのは、いかがでしょうか？</p> <p>明らかに添加物を減らす食事にする方が子供達の身体も強くなるかと思えます。何卒、一大事と捉えて、是非に改善をお願いいたします。添加物が文化にならぬ様、取り組みをお願いいたします。</p>	<p>松阪市の保育園・認定こども園給食は、子どもたちの成長発達に必要な栄養が摂れるように考え、衛生面に注意し、新鮮な食材を使った手作り給食を提供させていただいています。</p> <p>「おやつ」については、ご心配おかけしております。おやつは、週5回提供させていただいており、2回は手作りおやつですが、週3回は市販のお菓子となっています。</p> <p>給食と同様に、毎日手作りおやつを提供することが子どもたちの健康面にとって一番良いと考えますが、献立上、毎日の提供は難しい状況です。</p> <p>お菓子は、原材料表示にて添加物を確認し、また、栄養価や咀嚼面等を考慮したものを選定しています。完全に無添加にすることは難しいですが、今後はさらに種類の添加物を使用しているお菓子は控え、乳幼児に適した味のものを取り入れるように、努めさせていただきます。</p> <p>また、おやつバイキングについては、改めて内容を見直し、食育の一環として子どもたちが楽しめる時間となるよう取り組んでまいります。今後とも、安全で安心な給食を提供していきますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。</p>	<p>こども未来課 （電話：53-4081）</p>
2	オムツ専用ゴミ袋	<p>福祉まるごと相談室で配布している紙おむつ専用ゴミ袋をいただきました。配布ありがとうございます。</p> <p>ただ、20Lというのはとても使い勝手が悪いです。20Lに入るオムツの枚数というのはかなり少なく、ゴミの収集日までの3～4日分が入り切らないと思います。1セットの中身の枚数が少なくてもいいので、30L以上にいただけるとたくさんの人が重宝すると思います。この先も配布してもらえらるのであれば、改善していただけたら嬉しいです。子育て支援としてはとても有難い対策なので継続して欲しいです。</p>	<p>紙おむつ専用ゴミ袋無料交付事業のご利用ありがとうございます。</p> <p>松阪市で紙おむつ専用ゴミ袋を交付するにあたり、先行する他市町での状況と、週に2回の排出を想定し、20Lのごみ袋とさせていただきます。</p> <p>紙おむつ専用ゴミ袋無料交付事業は、開始してからまだ5か月ということもあり、令和8年度は、利用者へのアンケートを実施し、幅広くご意見を頂戴していく予定です。今回いただきました、30L以上のごみ袋というご意見も含め、アンケート結果を参考に令和9年度に向けて改善策を検討してまいります。</p>	<p>健康福祉総務課 （電話：53-4086）</p>
3	松阪地区救急相談ダイヤルについて	<p>以前深夜に母が倒れ、救急相談を利用しました。</p> <p>意識失って頭部を打撲し、数秒の痙攣のあと、徐々に意識も回復した段階で連絡しました。いつ急変するか時間との戦いの時に「品質向上のための～」と自動音声流れ、看護師さんが対応していただきました。症状を全て聞いた後、「ここでは病院がわからないため、三重県の救急医療センターに電話をかけて病院を聞いてほしい。」と言われ電話が切れました。続いてそちらに電話をかけると、深夜では病院が空いてないため救急車で行くしかないと話されました。この症状で救急車を利用してよいか尋ねると、私は医療者ではないので判断ができませんと話されました。</p> <p>再度相談ダイヤルに電話をかけ、全く同じ状態と症状の説明を行い、これは救急車をよんでもいいか尋ねると、看護師さんは私はその場にはいないので分かりませんが、必要と思ったら呼んでくださいと話され、電話が切れました。</p> <p>慢性硬膜外血腫など一時間後に急変し、死に当たる事例も存在します。失礼ながら、今回の対応は責任を負わないための言い回しにしか捉えることができず、相談ダイヤルとしての役割を全く果たしていないと感じます。医療の知識がない方ほど今回のような事例は死亡リスクが高まると感じます。</p> <p>また、救急車を呼ぶべきか判断に迷っている人は必ずしも時間にゆとりのある方ではないです。「品質向上のための～」や、電話をかけた人の年齢などの質問や自動音声は緊急を要する人には必要性はないと思います。</p> <p>救急車の適切な利用を広告するのであれば、相応の対応をお願い致します。</p>	<p>今回、お母様の急病に際して松阪地区救急相談ダイヤル24にその状態等をご説明され、また救急車を呼ぶべきか悩み、結果として松阪地区救急相談ダイヤル24に二度お電話をいただいたことですが、その際、救急車の必要性の是非について、また自動音声で最初に流れることで、焦りとともに不信感を感じたことと存じます。</p> <p>日頃より松阪地区の救急事情を考慮し、救急車の適正利用にご配慮いただいていることに感謝申し上げます。しかしながら、今回のような急病の場合指摘されているように急激に悪化することも想定されますので、深夜でなかなか診ていただける病院も無い状況でもあり、そんな場合はどうぞ躊躇なさらず救急車の出動を要請してください。</p> <p>今回いただいたご意見につきましては、松阪地区救急相談ダイヤル24を運営している事業所とも早速情報を共有させていただきました。今後とも相談者様に寄り添った対応に心がけていく所存でございますので、ご理解のほどお願い申し上げます。</p> <p>なお、既にご承知のこととは存じますが、松阪地区救急相談ダイヤル24は、救急車を呼ぶほどでもない場合などに無料で相談をお受けする仕組みでございます。そして相談内容に対する的確な回答、また場合によっては後日回答に関するの検証が必要な場合もあるかと思われますので、その必要性からも自動音声で録音させていただいております点につきまして、あわせてご理解のほどお願い申し上げます。</p>	<p>松阪地区広域消防組合 （電話：25-0119）</p>

令和8年3月受付分 公表

番号	件名	市民の声（要旨）	市の回答	問い合わせ先
4	中部台テニスコート駐車場の件	いつも中部台テニスコートを利用する者ですが、坂を上がってオムニコートがある駐車場において、白線内に駐車するべきところを白線外に駐車する方（特に入口すぐ右側の空いているスペースに無断で停める方）が多数みえます。案内板には「白線のところ以外は停めないように」と掲示してありますが、ルールを守らない方がいますので白線以外のスペースには駐車禁止にしてほしいです。	枠外への駐車につきましては、入口付近で、危険を伴う場所でもありますので、駐車禁止の貼り紙をしたコーンを設置し、注意喚起を行ってまいります。今後も皆様に快適にご利用いただけるよう努めてまいります。ご理解の程、よろしくお願いたします。	スポーツ課 （電話：26-7155）
5	松阪市議会議員のSNS活用についてのお願い	松阪市議会議員のインスタグラムを見て気づいたのですが、小学生の児童が写ったものが投稿されており、児童の顔を隠す様な加工をせずそのままアップされています。先日も小学校の閉校式典の様子が動画でアップされていましたが、校長先生と児童が校旗の返還をしている様子を児童の顔を隠す事なくアップされています。加工をすること無くアップされた投稿が多数あります。地域や学校の事業・行事を積極的に投稿し、発信していただくことはありがたいのですが、最低限の配慮はなされて当然です。拝見していて危険恐怖を感じます。速やかにこの様な行為を止めていただきたくお願いたします。松阪市は議員のSNSの活用についてどのような指針を示しているのでしょうか。	小学校の閉校式典の様子を映した動画については、行政チャンネルの「アイウェーブ まつさか」内でも放送を行っておりますが、学校から許可を得ております。また、小川議員のインスタグラムの投稿については、こちらも対象の児童本人及びその保護者から許可を得て掲載していることを確認いたしました。今後も松阪市議会の活動及びSNS投稿にご理解を賜りますようお願いいたします。	広報広聴課 （電話：53-4311） 議会事務局 （電話：53-4433）